

# あたしアラフォーなんだから再婚ぐらい認めてよ！

作 宝井 直人

## 登場人物

- 境 加奈子（娘）（38歳）（バツイチ独身）
- 境 道信（父）（68歳）（ヒステリック頑固おやじ）
- 境 智子（母）（年齢不詳）（マイペースマダム）
- 境 武史（息子）（35歳）（コミュ力高め）
- 田中 ミノル（28歳）（加奈子の再婚相手）

## 回想シーン

- パツとしない青年（20代前半）
- カップル男（20代・ちよつとオラオラ系）
- カップル女（20代・不思議な感じ）

【第1場】

（再婚する予定を報告するため実家へ帰ってきた加奈子。以前、父親へ報告した際、大反対されそのはずみで大喧嘩してしまい気まずい感じになっていた。再度父親を説得すべく報告に臨む。部屋には新聞を読んでいる父とマイペー  
スに何かやっている母がいる。）

加奈子 ただいま

母 あらお帰り。コーヒーでも飲む？

加奈子 あ、ああ、ありがと

（加奈子、椅子に座り話を切り出そうとするが少しためらう。微妙な空気が漂う）

加奈子 あの

母　ごめんなさい。コーヒー切らしてたわ

加奈子　全然大丈夫・・・あのね・・・お父さん、話があるの

父　何のようだ。お前とは親子の縁を切った。帰れ

加奈子　あ・・・この間はごめん。言い過ぎたわ。でも、お父さん達には認めてほしいの。私の再婚。

父　・・・

加奈子　今までさんざん勝手やってきて、こーゆー時だけお父さん達の同意を得ようとしてるのも

　　すごく自分勝手だと思ってる

父　・・・

加奈子　でもやっぱり、大事なところお父さんやお母さんに認めてもらいたいの

父　・・・

加奈子　離婚した後、二度と結婚はごめんだって思った。けど、その思いを考え直す機会を与えてくれる人

　　に出会えたの。頑固なあたしが、考えを改めたのよ。それだけ素敵な人に出会えたの

父　・・・

加奈子 一度離婚した私が言っても説得力ないけど、ミノルとだったら幸せになれると思う。

ミノルを、私達を信じてほしいの

父  
・  
・  
・

加奈子 お父さん

父 母さん、コーヒーの豆は何を買ってきたらいいんだっけ？

加奈子 お父さん！

母 小島珈琲のグアテマラとコピルアクお願い

加奈子 お母さんも！

父 母さん、回覧板は隣の飯田さんに回したらいいんだっけ？

加奈子 聞いてよ！真面目に話してるのよ！

父 あそこの犬はうるさいし躰がなっていないからあまり近づきたくないんだよ

加奈子 ねえってば！

父 先週私が前を通った時、吠えたついでに自分のウンコを口にして咳込んだ。本当に汚らしい犬だ

加奈子 お父さんってば！

父 絶対に認めんぞ！！！

加奈子 ……（耳をふさいで）急に大声出さないでよ

父 信じるだど？？いいか！？ウチの墓は先祖代々、浄土真宗・東本願寺大谷派の仏教徒だ！

にもかかわらずお前は結婚する時に神に愛を誓った！挙句の果てにそれを破った！10年も

経たずに！そんな人間の言葉を信じるだど！？

加奈子 だから、それは関係ないって言ってるでしょ！だいたい、自分ちの墓がどこで管理されてるかなんて

葬式に参加するまで誰も知らないからね！

父 何だど！境家のご先祖様のことなど知ったことではないだど！

加奈子 そんなことは言っていないでしょうが

父 いいか！言っとくけどお前が「いついかなる時も愛すること」を誓った相手は神様でも神父でも

何でもない。たまたま日本に来てた、雇われ外国人のただのジジイだ！

加奈子 その話はいいって

父 シヤリの上にチョコレートやフライドチキンが乗ってる奴を寿司と疑わないような奴らにお前は愛を誓ったんだ！

加奈子 そーゆー偏見を言うのは止めて。だいたいお父さん達の世代でもチャペルで式上げてる人多かったでしょうーに

父 なにがチャペルだ！日本語で言いなさい！

加奈子 もう全然話進まない。お母さん

母 (微笑む)

加奈子 笑ってないでなんか言っちゃってよ！

母 そうカッカしないの。チョコでも食べる？

加奈子 いらんわよ！

父 加奈子、お前は自分の歳をいったい幾つだと思ってるんだ？38だぞ！それに相手が27だと！？いいか！そいつは絶対詐欺師だ！騙されてる！目を覚ませ！

加奈子 失礼でしょう！人の婚約者に向かって！

父 大体なんでトモヒロくと離婚なんかしたんだ！

加奈子 またその話・5年前でしょ

父 彼はとてもいい青年だった。いや、今はお前と同じ年だから中年だ。

母 そうね。私もトモヒロくん大好きよ

父 流石母さんだ。お前みたいならけた人間と10年も一緒に居てくれたんだ！あんなにいい青年、

いやあんなにいい中年は他にはいない！何の詐欺師かわからんよーな奴は忘れて早くいい中年になった  
トモヒロくと再婚しなさい！

加奈子 離婚したつつつてるでしょ！てかなんで私じゃなくてトモヒロの肩持つてるのよ！

父 当たり前だ！お前が悪いに決まってる！

加奈子 ふざけんなこのハゲ！

父 ハゲだと！父親に向かってハゲだと！なんてやつだ！せめて「藤岡弘、」と言いなさい！

加奈子 どこが「藤岡弘、」よ！「友三」よりの「浪平」みたいな頭しやがって！

父 なんて娘だ！せめてD A P A N P の I S S A (イッサ) みたない頭と言いなさい！

母 あなた、ISSAもそんなに変わらないわ

父 え！？そうなの？

加奈子 あのね、何百回も言ったけどトモヒロとはいろいろ合わなかったの！

てかミノルは詐欺師じゃないし！

父 詐欺師じゃないだと！？じゃあ霊能師か？占い師か？それともハイパーメディアクリエイターか

キャンドルクリエイターか！？いや分かったぞ！あれだ、YouTubeに社長と和気藹々な動画を

投稿してる怪しいコンサルティング会社の絶対友達になれない色黒野郎だ！そうに間違いない！

加奈子 違うわよ！行政書士って言うてるでしょ！

父 いいか！嘘なんて簡単につけるんだ。どうせそいつはサウナに行つて「整う」とか抜かしているんだ！

それに冷静に考える。お前は38だ、お世辞にも美人でもなければ38と言われれば「うん」と頷ける

見てくれだ！

加奈子 最低

父 しかも38と言えば子供を産むとなると大変だ！



加奈子 子供はいらないって言ってるでしょ！

父 近年、30代後半から更年期を迎える人が増えてきているらしい。近々更年期を迎える美人でもない、お前みたいな中年女性を受け入れる奴なんて一体どこにいる？私の周りには存在しない。そいつは慈善団体が！？それともNPO法人か？それなら納得いくぞ

加奈子 もう呆れた

父 38で独身とくればそこそのポジションで収入はある、メリットとしてはそこだけだ  
あ！わかったぞ！そいつはお前の資産を狙った結婚詐欺師だ！

加奈子 言い過ぎ！よくペラペラと出てくるわね

父 母さんこーゆーのなんて言ったっけ？

母 ロマンズ詐欺？

父 そうそれだ！ロマンズ詐欺だ！外国人に騙される中年女性が後をたたないらしい！

加奈子 だからミノルは行政書士って言ってるでしょ！

父 何処の国だかわからんやつと結婚なんて絶対に認めんからな！！

加奈子 ミノルは日本人！どんな被害妄想してんのよ！思考回路、ピタゴラススイッチか！とにかく一度会ってちょうだい！話はそれから。もうそこに来てから。

父 な、何だって！ふざけるな！事前に連絡ぐらいしなさい！それでも社会人か！

報連相は社会人の基本だ！

加奈子 予定合わそうとすると合わせないでしょうが！この前だって直前でお腹が痛いとかいって

すっぽかしたくせに！子供か！いや泣いて言い訳する子供の方がよっぽどマシよ！

父 とにかく絶対会わん！いいかそいつは家に入れんぞ！絶対だ！コーラを飲んだらゲップが出るぐら

い絶対だ！外国人なんか我が家の敷居は絶対に跨がせんぞ！

加奈子 (スマホを取出し) ミノルもう来て大丈夫よ

父 あああ！

加奈子 んじゃ皆んなで待ってるね

父 (あたふたして) あ、そうだ、大事な仕事が残ってたことを思い出した。さらば

加奈子 ちよっ！お父さん！

(父、逃げるように自分の部屋に逃げ込む)

【第2場】

加奈子 もう！お母さんどうにかしてよ！

母 お父さんも加奈子を心配してるのよ。悪く思わないであげて

加奈子 思うわよ！人のこと中年だの更年期だの、挙句再婚相手を詐欺師扱いまでして

母 愛情表現よ

加奈子 下手くそか！

母 昔から表現が苦手なのよ

加奈子 程があるでしょ！程が！

母 そこがお父さんらしくていいところよ

加奈子 （ため息ついて一呼吸おいて）まったく、元気で何よりよ。

母 ありがとう。でも親の心配するならあまり気苦労はかけないでね

加奈子 ごめんなさいね！娘の結婚話が気苦労になるなんて夢にも思わなかったから。てゆうーかお母さんは

どう思ってるのよ

母 もちろん私は賛成よ

加奈子 (ほんとかなこの人と思うが) ありがとう。 ったく、部屋に乗り込んでやろうかな

母 逆効果よ。落ち着くまで待つてなさい

加奈子 てゆーかお父さん大丈夫なの？仕事続けて、ローンが残ってるとはいえ

母 いいえ、もう辞めてるわ

加奈子 あ、そーなんだ

母 もう早いわよ

加奈子 いつ？

母 20年前だったかしら

加奈子 ふーん・・・は！？えいつ？？

母 15年前だったかしら

加奈子 嘘でしょ！さっき仕事って

母 お父さんも大変なのよ

加奈子 え、じゃあこの家のローンとか生活費はどうしてんの？大丈夫なお母さん？？

母 ええ、問題ないわ

加奈子 問題ないって、ローン72歳まででしょ？

母 大丈夫、私がやりくりしてるから

加奈子 やりくりって。20年も・・・全然気付かなかった・・・って大変なら言つてよ！

母 だから大丈夫よ

加奈子 大丈夫ってどうしてんのよ

母 お母さん事業立ち上げたの、あと投資。だから全然お金には困ってないわ。

加奈子 は？

母 チョコでもだべる？

加奈子 あ、ありがとう、いやいや事業って・・・いつから？！

母 20年以上前かしら

加奈子 聞いてないんだけど！

母 聞かれてないし

加奈子 投資は？

母 あなたが産まれる前から

加奈子 はあ？？お父さん知ってるの？

母 知らなかったわ。

加奈子 じゃあ今までなんて？

母 お父さんの貯金でやりくりしてるって

加奈子 お父さんにいつ言ったの？

母 昨日

加奈子 昨日！？

母 ええ

加奈子 気付かなかったの？

母 給料明細から全てあたしが管理してたから、多分自分の月収も知らないわ

加奈子　なんて夫婦・・・てかよりによってなんで昨日言っちゃったの！

母　聞かれたから

加奈子　ちよつと！お父さんがそんなこと知ったらどーなるかわかるでしょ！プライドと見栄から

産まれたような人よ！しかもガラスのハート！自分がお母さんに養われてたって知ったら  
発狂するに決まってるでしょ！

母　けど事実は受け入れるタイプよ。家の事は率先してするようになったわ。今朝からだけど。

加奈子　あたしの再婚も事実なんだけど

母　じゃあ大丈夫よ。それにお父さん、ガラスの心じゃなくて水風船よ

加奈子　微々たる差！もうなんでミノルを呼ぶ前日にそんなことゆーのよ！会話にならないの

見え見えじゃない！

母　それよりこれどーかしら（お見合い写真ブックを取り出し見せる）

加奈子　え



母　この人はあなたと同じ年で、タイヤ市場の大手企業に勤めてて、年収はあなたより上で申し分ないわ。

ビジュアルもいいし、なんたって趣味が散歩ときてるからお金がかからない。

それにご両親はご高齢でしつかりしているから介護の心配は大丈夫よ。多分元気にポックリ系

加奈子　ちよつと！お母さんまで反対してるの？？

母　そんなことないわよ。あなたの幸せのためよ。じゃあこの人はどうかしら

加奈子　いい加減にして

母　この人なんかどう？

加奈子　ちよつと何回も言わないでよ

母　加奈子聞きなさい。人が同じ言葉を何回も言うときには2つの理由があるわ。一つは大切な事だから、もう

一つは・・・面白いから

加奈子　それどっちの意味で言ってるの

母　あなたのセンスに任せるわ

加奈子　（呆れてため息）もしかして事業ってこれのこと？

母　　いいえ、これはただの副業よ。

加奈子　（嬉しい人って感じで少し関心して）自分の娘をよく食い扶ちにできるわね

母　　家族だから特別に3カ月無料で入会させてあげる

加奈子　結構です

母　　あら残念

（ピンポン）

母　　どなたかしら

加奈子　ミノルだわ

（加奈子、玄関に行きミノルを迎えに行く）

加奈子　ごめんね、待たせちゃって

ミノル　全然、大丈夫

加奈子　入って

ミノル　どうも初めまして田中ミノルと申します。お邪魔します

母 Thanks for coming

ミノル え

母 加奈子、随分素敵な人じゃないの。しかも日本人。

(加奈子、遮るように咳する)

ミノル え？

加奈子 なんでもないの。(母に手をかざして「この人が」って感じで)お母さん

ミノル どうも

母 初めまして、さあ、そちらに座って。コーヒーでもいかが？

ミノル いえいえお構いなく。今日はそのご挨拶に伺いまして

母 あらやだ、コーヒー切らしてるわ。加奈子、ちょっとあたし買ってくる

加奈子 え！？ちよ！お母さん！

母 ミノルさんゆっくりしてってください

ミノル お母さんほんとお構いなく！

母 いいのよ。だって加奈子の大事な人なのよ。遠慮しないで。じゃあいつてきまーす

加奈子 お母さん！！

(母、退場)

ミノル 行っちゃったね

加奈子 もう！

ミノル ……お父さんは？

加奈子 引きこもってる

(父、扉を開けてiPadを持っている)

父 母さん、母さんの柔軟剤はレノアとフレアどっち買ったらいんだっけ？

(父、驚いて部屋に籠る)

ミノル 聞いてはいたけど歓迎されてないみたいだね

加奈子 そんな事ないわ、ちょっと人見知りなだけ、ホントごめん

ミノル まーまー。普通、最初はこんなものじゃないのかな。わかんないけど（苦笑い）

加奈子 忙しいのにホントごめん

ミノル 気にしない気にしない

（加奈子のスマホが鳴る）

加奈子 ごめん仕事

ミノル いいよ出ておいで

加奈子 ありがとう、ちょっと外すね、冷蔵庫開けてなんか飲んでいいから

ミノル ありがとう

（ミノル、しばらく一人でスマホをいじって待つ）

加奈子 ごめん、長くなりそう

ミノル いいよいいよ、管理職は大変だね。そしたらお父さんと2人きり？

加奈子 （歯切れ悪く）うん

ミノル 大丈夫

加奈子 ごめんね

(加奈子、退場。ミノル部屋に一人取り残される)

【第3場】

(ミノル、しばらく一人でスマホをいじる。そこに弟のタケシがやってくる)

弟     ♪うわわ！

ミノル (驚く) ！だ、誰ですか！？

弟     ・ ・ ・ あ！もしかして姉ちゃんの再婚相手の方ですか？

ミノル あ、はあ

弟     ですよね！あーよかった、泥棒にしては随分気品が良すぎたから、もしかしてーって。

あ、僕、弟のタケシって言います。よろしくお願いします

ミノル え？

弟     てゆーかこの家の中で「だ誰だ！」ってこっちのセリフですよー(笑)

ミノル え！？お、弟さん？

弟     はい、そうですあさすが変な弟です(笑)

ミノル え？加奈子の弟さん？

弟 あ、もう30過ぎてるから変なおじさんか(笑)

ミノル ホントに弟さん？

弟 そーですよ(笑)

ミノル あ、いやごめんなさい。加奈子から弟がいるっていうか、いないような感じで聞いてたので

弟 あーもうまたですか(笑) 姉ちゃんすぐ嘘つくんですよ、どーでもいいヤツを(笑)

あでも気にしないでください(笑) 姉ちゃん抜けてるところあるから嘘か天然かわかんない  
ところあるんで(笑)

ミノル 確かにそんなところありますね(笑)

弟 あ、てゆーか座って座って、座ってください。どーせみんな用事があるとかで一人にされてるん  
でしょ？(笑)

ミノル あ、ズバリです

弟 またかー(と言いながら牛乳を注ぐ)牛乳でいい？

ミノル (なんで牛乳？と思いながら) あ、ありがとうございます。ん？またって



弟 前の旦那さんも挨拶が来た時も同じ展開になったんですよ(笑)

ミノル (ホツとして) そーなんですネ

弟 だから気にしないでください

ミノル ありがとうございます。ちよつとホツとしました

弟 父さんの態度はほんとに気にしなくていいから

ミノル そうなんですか

弟 父さん、極度の恥ずかしがり屋で新しいのに抵抗が激しいんですよ、今だにガラケーだし(笑)

ミノル そうなんですネ。(でもさつきiPad持ってたなとふと思う)

弟 母さんはザ・マイペース。息子の自分でも掴みどころがない不思議な人なんですよねー(笑)

ミノル なんか納得です

弟 それに姉ちゃんはアレでしょ?(笑)

ミノル あはっ、タケシさんもいろいろ大変そーですネ

弟 ホント

(二人笑う)

弟　　そう言えば普段何されてるんですか？

ミノル　仕事ですか？行政書士してます

弟　　えーすごいですね！夫婦揃って大変ですね！ってまだ夫婦じゃないか(笑)

ミノル　いえいえ(笑)　タケシさんは？

弟　　僕ですか？んーなんて言えばいいだろうー

ミノル　あ、企業にお勤めではない

弟　　そうですねー、まー強いて言えばフリーでやってる感じですかね

ミノル　あ、フリーで活動されてるんですね、すごいじゃないですか

弟　　全然ですよ。ただパソコンが趣味なだけで

ミノル　え、IT系ですか？

弟　　まあー、一言で言うと難しいですけど、ITっちゃITですね

ミノル　へー、御姉弟揃って大変ですね

弟 いやいや僕は姉ちゃんに比べたらマジで全然ですよ(笑)

(加奈子、戻る)

加奈子 ごめんお待たせ、、、ちよ！あんたなんているのよ！

弟 おかえりー家だから

(加奈子、弟に詰め寄り部屋へ追い返そうとする)

加奈子 今日はお出でくんなって言ったでしょ！

弟 そんな、ちよちよ姉ちゃん

加奈子 じゃあね(弟退場)

ミノル どうしたの急に

加奈子 ごめんなんでもないから今日はお母さんも帰ってこないからまたにしましょう、ホントごめんね

ミノル え？え？ちよとまってよどうしたの？

加奈子 今日は帰りましょう

ミノル てゆーか弟さんいるなら言ってよーびっくりしたよ

加奈子 ……それについては、ごめん

ミノル なんて黙ってたの？すごいいい人じゃないか

加奈子 あ、いやまあ

ミノル すごく俺に良くしてくれて、あ、コレは弟さんにいただいたやつね、勝手に冷蔵庫開けてないから。

加奈子 ああ、そう

ミノル もうちょっとタケシさんと会話したかったな。お父さんとお母さんは時間かかりそう

だけど、タケシさんは上手くやっていけると思う！なんかお陰でホッとしたよ

加奈子 あー……あ、それは、よかったわ

ミノル てかなんで黙ってたの？

加奈子 黙ってたのは……ごめん

ミノル まー別にいいけど……どしたの？

加奈子 ……実は、アイツっていうかタケシは、

ミノル なに

加奈子 ・ ・ 引きこもりなの

ミノル へ

加奈子 引きこもりなの、中学出てから、今まで

ミノル は？ ・ ・ え？ ・ ・ ・

加奈子 まあ、高校と大学は通信制のやつだったから一応大卒なんだけど

ミノル え？ちよつ、引きこもりって ・ ・ ・ あれで？？？

加奈子 ・ ・ ・ うん

ミノル ・ ・ ・ 嘘でしょ！！！！？え？何歳？

加奈子 35

ミノル え！？ ・ ・ ・ ちよつと待ってさつきフリーって、え？

加奈子 何もしてないから、フリー

ミノル でもIT系って

加奈子 パソコン好きだし。あとはポーツとしたり、本読んだり、テレビ観たり、ご飯食べたたり

ミノル ちよ、え・・・引きこもりつて、高校から家から一步出てないの？

加奈子 うん

ミノル じゃあなんであんなにコミュニケーション能力高いの？

加奈子 謎。家族だけだと思ったら家に来る人全員にあんな感じ

ミノル ・・・・ここ社会人になって、1番驚いた

加奈子 とにかく、今日は帰りましょう

ミノル あ、う、うん

(二人家からでる)

【第4場】

(父、二人が帰ったのを確認してそーっとリビングに出てくる。玄関も確認してリビングに戻り、ため息をついてテレビつける。しばらくすると弟がこっそりやってくる)

弟 わ!

父 うわあ!もーやめてくれよー心臓止まったかと思ったよ(喜) 毎日やるなー

弟 (笑)、ごめんごめん。だって喜ぶんだもん(笑) あれ買い物は?

父 ん?買い物?

弟 さっき大きな声で柔軟剤買いに行くって

父 ああ、母さんに確認してから行くよ。なんだタケシも来るか?

弟 ー今日はやめとく。

父 そうか

弟 一緒に行ったの20年以上前だけど(笑)

父 (笑)

(しばらくテレビを観る二人)

父     なあ、タケシ

弟     ん？どうしたの父さん

父     いや、その、あれだ

弟     どうしたの？元氣ないじゃん

父     いや、大丈夫だ

弟     そう

父     ・・・なあ、タケシ

弟     ん？どうしたの父さん

父     いや、その、あれだ

弟     どうしたのよ？(笑)

父     いや、大丈夫だ

弟     そう



父 ……なあ、タケシ

弟 どうしたの（笑）元氣ないよ！

父 いや、その

弟 どうしたの？何々その感じ！告白？！

父 ……お前は、その、世間一般で言うところの引きこもりだ

弟 そんなことないよ（笑）

父 そんなことあるんだ

弟 そーかなー（笑）でどうしたの？

父 しかも、引きこもりとは思えないほどに……ひょうきんだ

弟 そんなことないよ（笑）

父 そんなことあるんだ

弟 父さんに似たのかもね（笑）

父 きつとそうだ。私はタケシが普通の引きこもりだと思ってた。しかし、新聞やテレビの特集で知る

引きこもりと、実際にお前にあつた人の反応を見て思った。タケシ、お前はただの引きこもり

じゃない。ひょうきんな引きこもりだ。

弟 そんなことないよ（笑）

父 そんなことあるんだ。普通の引きこもりはこうやって会話しない。でもお前は、飲み屋で気持ちよく会話している感じだ。嫌な気が一つもない

弟 それは父さんもだよ（笑）

父 ありがとう。しかもお前は35だ。つまり、いい歳だ

弟 まあ確かに、この年齢だったら仕事ではいいポジションについてて、在宅勤務の時とかは保育園の送り迎えとかやってるかもね（笑）

父 よく、さらりと爽やかに言えるな

弟 だって父さんの子だから

（二人笑う）

弟 でもさ父さん、仮に僕がその世間一般的なひょうきんじゃない引きこもりだったらどうなの？

父 え？

弟 家に帰ってきたら（隅っこに座って舌打ち）がいて、何か聞かれても無視か「うるせえ」って反応し  
かない感じだったらどう思う？

父 それは絶対にいやだ。父さんも（うつむいて弱弱しいポーズ）なる

弟 でしょ？それに比べて家に帰ったら（アメリカンなハイタッチポーズ）だったらどうなる？

父 父さんも（イエーイってハイタッチポーズ）になるな

弟 でしょ？

父 確かに！（引きこもりポーズ）より（アメリカンなハイタッチポーズ）の方が楽しいな！

弟 でしょ（笑）だからこのままでいいんだよ

父 そうだな・・・いや待て。何かが違う。父さんはタケシといると楽しい、でもやはり男として一度は  
親元を離れて暮らす経験もしてほしい！

弟 えーそれ必要かなー

父 必要だ。ひとり立ちの経験は人生を豊かにする

弟 そうかなー

父 そうだ

弟 もしかして俺にも結婚してほしい

父 ゆくゆくわ

弟 でもさ、ここ都内だよ？

父 ん？

弟 都内に実家あるのに一人暮らしするってコスパ悪いと思うんだよね

父 え？

弟 確かに人生経験として独り暮らしは悪くないと思う。でも結婚を考えるといろいろお金かかるじゃない？

父 それはそうだが

弟 都内の一人暮らしの生活費が家賃含めて大体18万前後。かたや実家暮らしは家賃も光熱費もかからない。

家に入れるお金も5万前後。結婚資金を貯めて将来に備えると考えたらどっちがいいと思う？

父 確かに。実家にいた方がいいな・・・そういうことじゃないんだ！そもそもお前は家にお金を入れていないじゃないか！

弟 確かに（笑）おれ引きこもりだった

（二人笑う）

父 父さんはタケシにもっと豊かな人生を送ってもらいたいんだ

弟 じゃあさ、父さんは親元を離れて生活してる人達が、生涯自分の親と会える回数知ってる？

父 え？いや

弟 （平均寿命ー現在の年齢）×2回（年〳残りの親と会える回数）って言われてるんだ。父さんが68だと

したら・・・残り13回

父 え！！

弟 あと13回しか会えないんだよ。今日が12/10で13日連続で会っても、もう二度とクリスマスと一緒に過ごせないんだよ。そー考えると僕が家にいるのと一人暮らしするのとどっちがいい？

父 家に居てほしい

弟　　でしょ。僕も同じだよ。残された時間、なるべく父さんや母さん、あと姉ちゃんと過ごしたいと

思ってる。だから、僕は家にいるんだよ。父さん達とずっと一緒に居た方が、僕の人生は豊かだよ

父　　タケシ。お前はいい息子だ。そして・・・デイベートもうまい。詐欺師にならなくて本当によかった。

弟　　でしょう？だから父さん気にしないで

父　　うん・・・違う！！違うんだ、ちよつと違うんだ！

弟　　どうしたの？

父　　父さんは、人生をもっと楽しんでほしいんだ。お前は青春時代からずっと引きこもってる。

今からでも遅くない。

弟　　今でも十分楽しいよ(笑)

父　　いや知らないだけで、父さんはもっとタケシにいろいろなことを経験してほしいだけだ。クリスマスだって

家族としか過ごしたことがないだろ？誰かとのクリスマス、一人でのクリスマス、これも人生だ。とにかく

もっと経験してほしい。そして、タケシが何を感じたか父さんに話して欲しい。それ以外は何も望まない、

そうだ、働かなくてもいい。いや、働いて欲しい。できれば正社員だ。お前は絶対結婚詐欺師にはなるな。お前も素質がありそうだ。頼むタケシ。

うーん

それにお前は昔から頭がいい、勉強だけじゃない、いつも俯瞰した柔軟な発想をする、そしてそれをひけらかさない。もっと自信を持って、お前ならなんでもできる。

弟 そんな事ないよ(笑)ま、でも、僕父さんと母さんと過ごすクリスマス楽しいんだけどなー(笑)

父 それはもちろん父さんもだ

弟 でしょ？

父 いやそれでもだ

弟 でもさ、知らないから楽しくないってわけでもないじゃない？

父 え？

弟 知らない今でも僕は十分楽しいよ。だから今の状況で僕自身が満足しているのなら無理して知る必要はないと思わない？それに無理は体に毒っていうし

父　　・ ・ ・ 確かに。いや違う！引き込みが上手い

弟　　引き込みって居酒屋のキャッチじゃないんだから(笑)ちよちよちよお客さん疲れた顔してますね一杯  
どうですか？

父(カモ)　　え？いや今日は

弟　　お父さん、いちきゅっぱで一時間飲み放題。3品付き。チャージなしです

父(カモ)　　いや、でもな

弟　　もしかして帰りにコンビによって近くの公園です？

父(カモ)　　いやまあ

弟　　風邪ひきますって！だったらウチよってください。カモンですよ。最近公園人少ないでしょ？みんなウチに  
居ますよ。一人じゃなくてみんなでクリスマス過ごしましょうよ！

父(カモ)　　え？そうなの？

弟　　マジっす。もうここ公園じゃねってぐらい人いますから(笑)あでも、ウチ、トイレマジで綺麗ですよ。関  
東一です



父（カモ） 安いのにすごいね

弟 もちろんですよ！俺が掃除してるんですよ！その辺の公園よりマジ綺麗です

父（カモ） そりゃそうだ

（二人笑う）

弟 どうすか？

父（カモ） じゃあ一杯だけ

弟 メリクリ！ありがとうございます！カモ入りまーす！（笑）

父 ……って違う！なんて上手いんだ！危うく2時間だ！そういうクリスマスも過ごしてみたいけど違う！

もっとう普通なクリスマスをだなく

弟 ふーん。したら父さんが若い頃のクリスマスは、どーやって過ごしてたの？

父 え？父さんか？

弟 他に誰がいんのよ（笑）教えてよ！僕の知らない父さんのクリスマス知りたいな

父 私は……

弟 私は？

父 ・・・いやとにかくだ！

弟 えー言つてよ（笑）まあまた今度教えてね（笑）

父 ・・・今度な

弟 おっけ。楽しみにしてるよ（笑）

父 ・・・うん

弟 でも、父さんがこんな真剣に話してくれたの初めてだね。

父 ・・・タケシ！

弟 僕が楽しくても、父さんや家族が楽しくなかったら、それは楽しいとは言えないね

父 タケシ！

弟 もう一回・・・ちゃんと引きこもって考えてみるよ

父 タケシ

弟 っつていつもと一緒じゃん！（笑）

(笑うタケシを見て笑うに笑えないが悲しく笑う父)

弟 あ、生配信。父さんまた後で！

父 え？あ、うん

(父、タケシを見送り、将来を心配して佇む。暫くしてテーブル上のカレンダーを手にとって)

父 もうすぐ・・・クリスマスか

(舞台次第に暗転。そして浜田省吾「ひとりぼっちのクリスマスイブ」が流れる。)

(舞台下側に淡く照明がつく。)

(以下、曲の一番が流れる一分30秒ほど)

\*\*\*\*ここからサイレント芝居\*\*\*\*

(舞台上手、平成初期な感じでスーツにコートを羽織った冴えない青年が花束を持って立って誰かを待っている。)

(いくら待っても相手は来ない。時間経過は照明と時計見るなどのポーズで表現)

(下手より、カップル登場)

(青年、諦めて下手側に行くうとして下手から来たカップルの男性とぶつかり、青年倒れる。)

(青年は起き上がり、下手へ去ろうとするが、先ほどの男性にどつかれて再び倒れる。)

(そのはずみに花束を落とし、男性に踏まれる。)

(カップルの女性が優しく微笑みハンカチを渡す。)

(カップルはラブラブしながら上手に退場。)

(青年、起き上がり夜空を見上げて頬を拭う。そして下手に退場)

\*\*\*\*\*サイレント芝居はここまで\*\*\*\*\*

【第5場】

（舞台上に照明がつき、さつき座つてた反対側に父と母が座っている。離れたところに椅子が一つ。面接のような構図。玄関の方に加奈子とミノルがいる）

加奈子 準備はいい？忘れ物ない？

ミノル 履歴書に職務経歴書、住民票の写しに印鑑証明書と債務経歴書、あと会社設立時の定期謄本に  
発起人決定書、代表取締役の承認承諾書、出資金の振込証明書、あとは過去〇年分の源泉票と  
会社の決算書等々、、、法人作つた時より提出物多いよ

加奈子 お父さん税理士だったから。心の準備できた？

ミノル 新卒の最終面接より緊張する

加奈子 じゃあ行きましょう

ミノル 失礼します。初めまして田中ミノルと申します

父　　な、ナイスチューミーチュー

ミノル　え？あ、はじめまして

父　　なんだ日本人か（ボソツと大真面目に）

加奈子　大きく咳をする

ミノル　ジョークだ。さあそこに座りなさい

ミノル　失礼します。

（異様な緊張感に包まれる）

母　　2対2だなんて、まるでダブルデートみたいね

加奈子　圧迫面接の間違いでしょ

父　　（大きく咳をする）

ミノル　あ、あの

父　　（大きく咳をする。それにつられて咽てしまう）

母　　大丈夫？

ミノル だ、大丈夫ですか？

父 (何とか立て直して) ないすとうーみー

加奈子 (間髪入れず) ふざけないで

父 アイスブレイクだ

母 一杯飲んだら？

父 大丈夫・・・では持ってきたか？

ミノル あ、こちらです。どうぞ(席を立ち渡す)

父 よし(手に取り) うむ・・・うん・・・ふーん・・・おお・・・犯罪経歴証明書はどこだ？

ミノル え？は、犯罪経歴？

父 そうだ。犯罪経歴証明書だ

ミノル いや、そんなものはありませんが

父 なんだと！！貴様、私達家族に前科を隠して隙を見てこの家に乗っ取る気だな！！

ミノル いやいや！そんなことないです！前科もありません！



父 母さん警察に連絡してくれ！ここにロマンス詐欺師がいる！

加奈子 お父さん！

母 あなた、多分大丈夫よ。

加奈子 多分じゃないし

父 お前は黙ってなさい

母 落ち着いて、大丈夫よ、多分

加奈子 (呆れる)

父 うむ。(深呼吸して) では質問だ。

ミノル はい

父 何故ウチを狙う

ミノル え、あ、あー

加奈子 お父さん！真面目にやってよ！

母 お父さんは「どうして加奈子と結婚したいのか」って聞いているのよ。多分

加奈子 はあ？

ミノル え！？あ、ああ、そうですね。一言で言えませんが加奈子さんの人柄です。

母 あら一番嬉しいわね（と言って加奈子を面白げに見渡す）

加奈子 （茶化すなど睨み返す）

父 企てたのはいつだ

ミノル え？

母 お父さんは「二人の馴れ初めを知りたい」って聞いてるわ。多分

ミノル あ、出会ったのは2年前です。入札のコンペで初めて出会いました。それ

父 なんだと！おい加奈子！こいつは公私混同で見境なく異性に手を出してトラブルを起こす

とんでもないやつだ！

加奈子 だったらそこにいた私も同じでしょーが

父 なに？お前も見境ないのか？！

加奈子 あほ！

ミノル あのお父さん、ちよつと違つて

父 お父さん！？そーゆーベタな挑発には一切乗らんぞ！何がお父さんだ！私はロマンス詐欺師を育てた覚えはないぞ！

加奈子 いい加減にして、ミノルの話をちゃんと聞いて

母 お父さんチョコ食べる？

父 ありがとう。(チョコを食べる)

父 (モゴモゴしながら) さあ、アリバイを言え

加奈子 食べてから言いなさいよ

ミノル ・・・あー(行間を必死に読もうとする)

母 お父さんは「馴れ初めの続きを聞かせて」って言ってるわ。多分。

ミノル あ、はい。初めてお会いした時は挨拶程度だったんですが、その後、たまたま僕が友人に誘われて行ったフットサルで再会しましてそれからです。

父 フットサルだと！社会人でフットサルをやってる奴なんてだいたいがマルチ詐欺か投資詐欺を

やってる奴らだ！ロクなもんじゃない！加奈子！今すぐ別れなさい！

加奈子 だったらそこに居た私も同じでしょーが

父 なに！？お前もマルチ詐欺をしているのか！？

加奈子 やつとらんわ！！

母 あらいいじゃないの、運命的な出会い素敵ねー。それにマルチの話、気になるわ（嬉）

父 うん。確かにそうだな。手口が気になる

加奈子 マルチで広げないで

ミノル あの、加奈子さんのお父さん。

父 おと！、な、なんだ

ミノル 私は加奈子さんの歳下で歳もひとまわり近く離れています。なのでいろいろと想像があるかと思

いますが、決してそのようなことはございません。今日初めてお会いするので信じられないと思

いますが、どうか、私達の結婚を、加奈子さんの再婚をお許し頂けませんでしょうか。

加奈子さんとならきつと幸せな生活を送れると信じてます。どうか、お願いします。

父  
・  
・  
・

加奈子  
お父さん

母  
私達は離婚を経験したことがないの。だから加奈子が離婚で辛い思いをしたのか、それともいい

勉強になったと前向きに捉えることができたのか、どんな思いをしたのかは想像できないわ。

ただ、離婚に至るまではいろいろなことを感じてきたはずよ。もし離婚でつらい思いをしたのなら、私達は

加奈子と同じ経験をして欲しくないの……っていいたのよね。お父さん。

父  
う・う、まあ、うん

母  
いいんじゃないの？私は賛成よお父さん。ミノルさんとならきつと幸せにやっつけてくれると思うわ。

父  
う・う、まあ

加奈子  
お父さん

父  
娘は通常の2倍くらいうるさいぞ。

加奈子  
ちよつと！

父　そして頑固でデリカシーがない。「言えば」は返ってくる。恐らく年齢とともにそれは加速している。

誰に似たのか検討もつかない。親の顔が見てみたいとよく言われたものだ。それでもやっていけるのか？

ミノル　もちろんです。どうかよろしくお願いします。

父　・・・

母　お父さん

加奈子　お父さん

父　・・・やっぱり認めん！！どんなに口八丁で私を言いくるめようとしても騙されはせんぞ！！いい

か！？君とは今日初めてあったんだ！どんな奴なのか何が好きなのか何にも知らん！どこぞの馬

の骨わからんやつを家族として受け入れるほどお人好しではない！二人ともとつと出ていけ！！

加奈子　お父さんそんな！・・・お母さんなんとか言っただけてよ！

母　何を？

加奈子　何をとって、私達の結婚認めるよう言っただけてよ！

母　何言っただけてるの？認めてるじゃない

加奈子 お母さんじゃなくてお父さん！

母 だから認めてるじゃない、お父さん

加奈子 だからお母さんじゃなくてお父さんよ！・・・はあ？

ミノル え？

母 条件付きで認めるって、そーよね、お父さん

父 う・・・うむ、まあ

加奈子 え？

母 結婚は許すけど、ミノルくんのことをもっと知りたいから籍を入れる前に2，3回食事でもどうだろうって言ったのよ。多分。

加奈子・ミノル へ？

母 ね、お父さん

父 ・・・まあ、うん。

加奈子 はああ！？そんな事一言も言ってなかったわよ！

母 愛情表現よ

加奈子 下手くそか！

母 疲れてるのよ。チョコ食べる？

ミノル え！？本当にほんとですか！？

父 う、ま、まあって馴れ馴れしく話しかけるな

母 お父さんはちょっとツンデレなのよね

加奈子 デレの要素！！でもありがとうございます

ミノル あ、ありがとうございます！お父さん食事行きましょう！

父 お父さんだと！！

ミノル あ、すみません。加奈子さんのお父さん、好きな食べ物教えてもらえますか？

父 す、好きな食べもの？ま、まあ強いて言うならば納豆

加奈子 メインを言いなさいよ、メインを

父 メイン・・・私はなんでも食べる



ミノル わかりました！そしたら寒いのでおでんとかどうでしょう？！

父 う、うむ、悪くはない。が

母 お父さん猫舌なのよね

父 それは言わなくていい

ミノル 決まりですね！冷めても美味しいおでんが食べれるお店知ってます！今度行きましょう！いつにしますか

父 ちよちよつとまで！強引に進めるな！私は強引なやつが苦手だ！

ミノル あ、すみません。

父 それに私は忙しいんだ！調整するなら来月以降だ！

加奈子 今無職なんじゃないの

父 郵便ポストの確認から掃除に洗濯、食器洗いで私は忙しいんだ！

加奈子 はいはい

母 再来週ちようどクリスマスだけどうかしら？

(加奈子とミノル目を合わせる)

加奈子 大丈夫

母 じゃあ決まりね

ミノル 早速予約します！

父 おい！勝手に決めるな！

(タケシ、少し顔をのぞかせて暗転)